

令和3年度 林業試験場研究課題一覧

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展	森林資源の循環利用を推進する林業技術の開発	森林資源の適切な管理と木材の生産・流通の効率化のための研究開発	ICT 技術を活用した原木丸太デジタル情報共有化技術の検討(委託元: スマート林業 EZO モデル構築事業協議会)	20~22	経営 G	3
			製材からプレカットまでを行う垂直統合型・垂直連携型事業者の成立条件の解明	21~22	経営 G	4
			ゲノム情報を利用したグイマツ雑種 F <sub>1</sub> の材強度に関する判定技術の開発(非公開)	19~21	育種育苗 G	-
			長距離ゾーンフローが卓越する針葉樹でなぜ高標高エコタイプが存在しているのか?(主管: 東京大学)	20~22	育種育苗 G	5
			森林の急激な環境変化が野生植物の生態的・進化的変化に与える影響(主管: 日本大学)	20~21	育種育苗 G	6
			グイマツ雑種 F <sub>1</sub> 挿し木幼苗の通年生産に向けた実証研究(非公開)	20~22	保護種育苗部長	-
			カラマツ類優良品種の効率的な選抜のための技術開発	18~22	育種育苗 G	7
			トドマツコンテナ苗の育苗期間短縮に向けた発芽・育苗条件の解明	20~23	育種育苗 G	8
			クリーンラーチ挿し木苗の得苗率を向上させる育苗管理技術の開発	19~22	育種育苗 G	9
			コンテナ苗植栽機械化のための植栽機構および作業システムの検討(主管: 林産試)	19~21	経営 G	10
			造林作業機械化に向けた小型遠隔操縦式草刈機の実証試験	21	経営 G	11
			シラカンバ人工林における上層高予測モデルの作成と径級分布に影響する要因の検討	21~23	経営 G	12
			新たな付加価値を含めた木材利用を考慮した広葉樹の育成技術(主管: 北海道大学)	20~22	経営 G	13
			トドマツ人工林の連年成長量予測モデルの開発	20~22	経営 G	14
			成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(主管: 森林総研)	18~22	経営 G	15
			針葉樹人工林の成績の違いが侵入広葉樹の群集構造と動態にどのように影響するのか?	20~22	経営 G	16
			市町村における人工林資源持続可能性評価ツールの開発	21~23	経営 G	17
			UAV 測量による森林資源量の見える化技術の開発(非公開)	20~21	経営 G	-
			多時期の衛星画像を利用した針葉樹人工林の抽出技術の開発	19~21	経営 G	18
			食葉性昆虫の大規模食害による成長期の失葉下での異常な木質形成のメカニズムの解明(主管: 北海道大学)	20~22	経営 G	19
			UAV 空撮データを活用した森林資源量推定システムの実証(委託元: 株式会社 コア)	21	道北支場	20
			保残伐の大規模実験による自然共生型森林管理技術の開発(主管: 森林総研)	18~22	環境 G	21
			森林風倒被害発生後の被害地整理・風倒木活用における課題抽出	21	環境 G	22
			道北地域の森林におけるエゾシカ生息実態把握技術の開発(委託元: 中川町)	19~21	道北支場長	24
			野ネズミ発生予想の精度向上と再造林時に発生する枝条が野ネズミ被害に与える影響の解明	21~23	保護 G	25
			ニホンジカによる植生への現在の影響は深刻なのか? 過去数千年の個体群動態からの検証(主管: 森林総合研究所)	21~24	道北支場長	26
			ニホンジカ忌避剤効果試験(委託元: 一般社団法人林業薬剤協会)	21	道北支場長	27
			ストレス環境を考慮したカラマツ類の病虫害抵抗性の比較	20~22	保護 G	28
			北海道で急増するカラマツの大量枯死の原因解明-病虫害と衰弱要因の特定	20~22	保護 G	29

再生可能エネルギーなどの安定供給と高効率エネルギー利用システムの構築	再生可能エネルギーなどの活用と安定供給のための技術開発	地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装 (主管：工試)	19~23	経営 G	30
------------------------------------	-----------------------------	--	-------	------	----

推進項目	中項目	小課題	課題名	期間	担当	P
森林の多面的機能の持続的な発揮	森林の多面的機能の持続的な発揮	森林の多面的機能の発揮と樹木・特用林産物の活用のための研究開発	温暖化に対する河川生態系の頑強性評価：微気象と連結性を考慮した適応策の構築	19~21	環境 G	31
			気候変動に伴う河川生態系のリスク評価：統計モデルとメソコスム実験の融合（主管：北海道大学）	19~23	環境 G	33
			治山ダム設置前後の地形・植生変化の効率的な把握手法の検討	19~21	環境 G	34
			<b>SDGs の達成に向けた森林活用を学ぶ教材の開発と実践</b>	21~22	道南支場長	36
			本道に自生するツルコケモモの栽培化に向けた遺伝資源の収集とクローン増殖技術の開発	17~21	樹木利用 G	37
			<b>マツタケ菌根苗安定生産技術の開発</b>	21~24	育種育苗 G	39
		地域・集落を維持・活性化するための地域システムの研究開発	持続性の高い地域水インフラの運営・再編支援システムの開発 （【戦略研究】「持続可能な農村集落の維持・向上と新たな産業振興に向けた対策手法の確立」）（主管：地質研）	20~24	環境 G	40
			水資源の利用・管理支援システム「水資源 Navi（地域別）」の開発（主管：地質研）	20~23	環境 G	41
		災害発生後の応急対策及び復興対策手法の開発	北海道胆振東部地震による崩壊斜面における植生回復手法の開発	19~22	環境 G	42
			2018 年胆振東部地震により発生した大規模山地災害のメカニズムと復旧方法の解明（主管：石川県立大学）	19~23	環境 G	44
		災害の被害軽減と防災対策手法の開発	十勝地域における防風林の風食防止効果の定量的評価	20~22	道東支場	45
			防風林によるジャガイモ生産安定化：畝の風食との関係	20~22	道東支場	46
			<b>石炭露天掘り跡地を低コストで樹林化するための植栽方法の検討（委託元：空知炭礦株式会社）</b>	21~24	環境 G	47
			海岸防災林の津波減災機能向上のための生物・物理モデルの開発と森林管理手法の評価	19~21	森林環境部長	48
			流木災害防止・被害軽減技術の開発（主管：国立研究開発法人森林研究・整備機構）	19~21	環境 G	49
			海岸流木処理対策の効率化・迅速化のための漂着量把握技術の開発（主管：環科研）	19~21	環境 G	50
			<b>多次元高精細地表情報を用いた流域内地形-植生形の connectivity の研究（主管：北海道大学）</b>	21	環境 G	52
<b>砂浜海岸の3次元地形変化と流域特性を考慮した海岸浸食の実態解明</b>	21	環境 G	53			

\* 太字は R3 年度から始まった新規課題